

香川

ドーム広場で「市民結婚式」

花嫁が幸せになるまち―をコンセプトに16日、高松市丸亀町の高松丸亀町壱番街前ドーム広場で「市民結婚式」が初めて開催される。「高松を市民結婚式のまちに」と地元商店街や市が協力して実現。大勢の市民らとともに新郎新婦の門出を祝福する。

高松・丸亀町 あす初開催

内在住の29歳男性と32歳女性のカップル。人の命と向き合う医療関係の仕事で出会ったことから、「周囲の人を幸せにできる結婚式にしては？」と、国特別名勝、栗林公園など県の地域性を生かした「ふるさと

婚”を通じて地域振興に取り組む「フェアリー・テール」の藤田徳子社長が提案した。

「地域の人たちに公共施設のひとつとして有効に使ってもらいたい」との思いから高松丸亀町商店街振興組合の古川康造理事長が協力。高松市の大西秀人市長も賛同し、当日は「結婚証明書」を発行し、祝辞とともに直接授与する。

新郎新婦は誓約書に署名した後、約30人の聖歌隊と商店街を花嫁行列する。

今後、希望があれば県外の人でも市民結婚式を挙げることが可能。古川理事長は「単なるイベントではなく、高松のライフスタイルになれば」と熱が入る。企画した藤田社長は「公然と誓いの言葉を述べることで、結婚への責任感が強くなり、絆が深まる」と期待を込める。



市民結婚式が開催される高松丸亀町商店街のドーム広場 高松市